

優秀賞



美しい町を守るために

堀野 文貴

七ヶ浜町は、海に囲まれた美しい町です。この美しい町を守り、さらに良くしていくために、どんなことが出来るかを考えてみました。

一つ目は、ゴミ拾いです。道路や海岸にゴミが落ちていると、きれいな景色が台無しになってしまいます。

例えば、学校に行く時や帰る時に、ゴミが落ちていたら拾う、というのはとても良いことだと思います。友達と、どっちが多く拾えるか勝負しながら拾えば、ゴミ拾いが楽しくなると思います。七ヶ浜には地区ごとに、クリーン大作戦というみんなでゴミ拾いをする行事があります。行事の時だけでなく、ふだんから、ゴミが落ちていたら拾う、という気持ちを持つことも大切だと思います。また、落ちているゴミを拾うだけでなく、

その辺にゴミを捨てない、ということも大切だと思えます。外で遊んだ時に、ゴミ箱が無ければ家に持って帰って捨てればいいと思います。車の窓からペットボトルやゴミ袋を捨てているのを見たことかありますが、大人がそういうことをすると、子どももやっていいと思ってしまうかもしれないので、絶対にやめたほうがいいと思います。

二つ目は、地区ごとの持ちようを出していただくことです。七ヶ浜には代ヶ崎浜、吉田浜、花刈浜、東宮浜、菖蒲田浜、松ヶ浜、湊浜という七つの浜があるので、浜ごとに何か違うことをやればいいと思います。

ぼくが住んでいる代ヶ崎浜では、おはじきシートという取り組みを行なっています。これは、防波堤におはじきをはりつけて、海の中の様子だったり、魚とかカニとか、海の生き物をおはじきで作るというものです。東日本大震災の後、前よりも防波堤が高くなったので、防波堤を使って何かできないか

と代々崎浜の人たちか考えて始まったそうです。おはじきうートは、子ども会だったり、老人会だ。たり、地区の色んな人たちが協力して作品を作るので、交流になって良いと思います。今では、宮城県以外の県からも見に来る人がいて、代々崎の名物の一つになっています。

七ヶ浜の美しさを守り、さらに良くしていくためには、一人一人の努力だけでなく、みんなの協力が必要です。ぼくも、自分にできることからまずはじめて、七ヶ浜をより良い町にしたいと思います。